

第 101 号

2015 年 2 月

ラ・ルーラ通信

＜発行＞
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



ごく当たり前の活動が子どもの育ちを育む

中部学院大学子ども学部
子ども学科 教授 西垣 吉之

先日、ある園で1歳児の公開保育を見る機会がありました。1歳児はまだ自分の世界を生きるといった感じで、周りの子と気持ちを通い合わせることがむずかしい時期です。では、子どもの成長過程で、お互いに同じような思いをしているということを感じられるようになるために、どんな経験が必要なのでしょう。

気持ちを通い合わせる力が育っていないということは相手の思いに共感することができないということです。さらに言えば、相手の気持ちが分からないということです。1歳児の子が相手を引っ掻いて、相手が泣き出したとします。でも、まだ相手が痛い思いをしていることが分からないので、1歳児は相手が泣き出しても結構平気で遊び続けたり、泣いている子を不思議なものを見るかのようにじっと見ているだけということもあります。極端に言えば、相手が感情を持っている人間だということが分からないということです。また自分と同じような感情を周りの人も持っているということが分からない年齢なのです。

つまり、相手の気持ちが分かるようになるということは、そこに訓練が必要だということになります。

実は、今日の保育にはそうした力が育つ要素がいっぱい存在していたと思われます。例えば、音楽や言葉に合わせ、子どもたちが同じ動作をしたり、同じ声を出したりする場面がありました。子どもたちは同じ動作をしながら、同じ体の動きをし、同じ体の動きが同じような心の動きを作っているのがわかりました。ぴょんぴょんウサギになって跳ねていると、なんだか大人でもワクワクしませんか？体を動かすとその動かし方によって、人は大人でも子どもでも同じような感情を味わうのだと思います。最初は、それぞれの子どもが、楽しいと感じているのですが、それがいずれ互いに「楽しいね！」という気持ちを育むのではないかと思うのです。

もう一つ、この公開保育で面白いことに気づきました。先生がお面をかぶってゴリラになる場面がありました。そして力持ちのゴリラに変身した先生が、子どもを抱っこして揺らすのです。子どもたちはとてもうれしそうです。それは大好きな先生が揺らしてくれるからです。大好きな先生は自分を落とすことはないだろうという確信があるから、安心して身を任す事ができるのです。体を揺らされることは子どもにとってワクワクすることでしょう。その姿を見ていて、自分を揺らしてもらい順番を待っている子どもたちがうらやましそうにしているのです。その子達がうらやましそうに見ているのは、揺らしてもらっている自分を想像しているからです。また、揺らされたら、こんな感情が自分に湧いてくるだろうなというイメージが心の中に湧くからです。体の動きを伴う感情の動きは、多くの子どもたちにとって共有なのです。だからこそ、他の子が揺らされていることをうらやましそうに見ながら、自分も揺らしてほしいと思う気持ちが生まれるというわけです。

体の動きと感情の動きは、密接な関係にあるようです。またそれが将来、相手の気持ちをわかるようになるために大切なきっかけになるということを改めて感じた保育でした。

“節分の豆まき”で鬼退治！



毎年の恒例「節分の豆まき」を今年も開催しました。参加人数は親子で約40組。ワイワイガヤガヤ楽しい豆まきになりました。

今年は小さなお子さんの参加も多く年齢幅も広がっていたのでプログラムも多くしました。まずは的当て用の小さな鬼を順番に親子で作ると、それぞれどの子も嬉しそうに持ち歩き満足顔でした。またボードの大きな鬼も用意し、カラーボールを投げ、ママからは「おにはーそと！ふくはーうち！」の掛け声も加わり元気いっぱいの的当て遊びが楽しめました。最後には学生が扮した鬼が登場！豆の代わりにカラーボールを投げて鬼退治をしました。



「入園を祝う会」を開催！

来年度から幼稚園・保育園に通うお友達を対象に、ひとつの区切りとしてお祝いの会を開きます。

ラ・ルーラでみんなと一緒に遊んだボール遊び・紙遊びを始め、カラーリング布・マット・バルーンなどいろいろな遊びを楽しみましょう。音楽のリズムに合わせて踊ったりもします。親子で身体を動かして思いっきり遊びましょう！

入園を祝う会

3月18日(水) 11:00~



みんな“コマ回し”に夢中！



今、ラ・ルーラで一番人気のおもちゃは「独楽(コマ)」。それも紐を巻いて回す駒にみんな夢中です。「子どもの頃は出来たけど…」「やったことないけど…」と最初は手が出なくても、保育士や学生が競って回す姿を見て「(ちょっとだけやってみようかしら)」と仲間入り。巻き方と投げ方のコツをつかめば誰でも回せるようになる駒です。でも「少しだけ練習」しないと回りません。このほんの少しの壁がみんなの心を揺さぶっているようで、回せなかった時は悔しくて、その分回せた時は誰もが大喜びです。

そしてもうひとつの楽しみは「駒用プロペラ」です。細長く切った厚紙の中心にパンチで穴を空けただけのこのプロペラは、きれいに回った駒の芯棒に上手く乗せると、駒と一緒にクルクルと回ります。これも簡単そうでちょっとだけコツがいります。駒が回せるようになる大人の根気とプロペラを上手く乗せられるようになる子どもの根気。「できるかなあ…」「うあ〜ざんねん！」「もう一回やろ！」と何度も挑戦しています。もちろんできなくて大泣きする場面もありますが、それも含めてみんなで楽しんでいきます。2月も引き続きコマ遊びを楽しみたいと思います。他にも指先で回すコマや0歳児の赤ちゃん用のコマもあります。どうぞ遊びに来てください。



みんなで一緒にコマ回し



小さな赤ちゃんも回るコマに夢中です

みんなでお祝い “ママの誕生日会”



毎月行っている誕生日会に1月はママからの申し込みがありました。

いつもの誕生日会同様、ママも子どもと一緒にお祝いしました。

普段は「〇〇ちゃんのパパ」と呼ばれていることが多いのですが、この時の主役はママ。吹奏学部の演奏による「ハッピーバースディ」の曲もちろん名前（ファーストネーム）で「ちかちゃん！おめでとう！」とみんなで歌いました。偶然にも他に二人も1月生まれのパパが参加され、もちろんファーストネームで「〇〇さん！おめでとう！」とみんなで歌い、一層和やかな雰囲気となりました。

お子さん同様、事前に参加申し込みをしていただけたら、スタッフより手作りのバースディカードを用意しています。よろしかったらママもパパも自分の誕生日会としてご参加ください。少々照れくさい気もしますがいいものですよ。



子どもの急な病気・ケガに困ったら

普段から「かかりつけ医」があると安心できますが、子どもの病気やケガは急なことが多く、診察時間外だったり「このケガはこの時間どこの病院へ行けばいいのかしら…」と困ったことはありませんか？

そんな時、公の病院案内を頼るのもひとつの方法です。診察ではありませんが相談や案内を聞くことができ「一人じゃない」と安心できます。

救急病院案内一覧（岐阜県内の救急の医療機関を案内する救急病院案内の電話番号：24時間対応）

岐阜市・瑞穂市	058-262-3799	羽島市	058-392-3799
各務原市	058-382-3799	羽島郡	058-388-3799
山県市	0581-22-3799	本巣市・本巣郡	058-324-3799
大垣市・安八郡・池田町	0584-88-3799	海津市	0584-53-3799
養老郡・大垣市（上石津）	0584-32-3799	不破郡	0584-23-3799
揖斐郡	0585-32-3799	関市・美濃市	0575-23-3799
美濃加茂市・可児市・加茂郡・可児郡	0574-25-3799	郡上市	0575-65-3799
多治見市	0572-23-3799	中津川市	0573-65-3799
瑞浪市	0572-68-3799	恵那市	0573-25-3799
土岐市	0572-55-3799	高山市・大野郡	0577-34-3799
飛騨市	0577-74-3799	下呂市	0576-25-3799

小児救急電話相談(休日・夜間の電話相談)

#8000

または 058-240-4199(プッシュ回線)

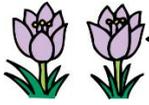
■月～金曜日

18:00～翌朝8:00

■土曜・休日、年末年始(12/29~1/3) 8:00～翌朝8:00(24時間)

休日や夜間のお子さんの急な病気やけがの際に、家庭での対処方法や医療機関を受診すべきかどうかについて、電話で専門の相談員(主に看護師)に対応してもらえます。





くら・ルーラ開設日 > 火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

3 月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
1 休み	2 休み	3	4 10:45~ お母さんのための リフレッシュ講座	5	6 げんき広場 11:00~11:45	7
8 休み	9 休み	10 にこにこ広場 11:00~11:30	11	12 11:00~ 移動図書館 (読み聞かせ)	13	14 みんなで遊ぼう! 11:00~12:00
15 休み	16 休み	17 12:50~ ランチタイム コンサート	18 入園を祝う会 11:00~11:45	19 赤ちゃんサロン 11:00~11:45	20	21 休み
22 休み	23 休み	24 11:00~ 子育て実践 プログラム	25	26	27 3月の誕生会 12:30~13:00	28
29 休み	30 休み	31				

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。
尚、各行事は定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

3月の行事 * 内容紹介

4日 お母さんのためのリフレッシュ講座 「大人の塗り絵（曼荼羅）」

6日 げんき広場（2~3歳児対象） ボール遊び

10日 にこにこ広場（1歳児対象） 「布」を使って遊びます

12日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

14日 みんなで遊ぼう！ 「折り紙で遊ぼう！」（折って遊べる折り紙を中心に）

18日 入園を祝う会 来年度幼稚園・保育園に入園するお友達対象です。
運動遊びをしたり、音楽に合わせて踊ったり、親子一緒に楽しい時間を過ごします。

19日 赤ちゃんサロン（0歳児対象） 親子ふれあい遊び & 交流

24日 子育て実践プログラム

「親子で楽しむ童謡コンサート~心の優しさを育む素敵な童謡を生演奏で~」
中部学院大学子ども学科 教授 眞野 美佐子
(ピアノ伴奏：講師 安田 万里子)

27日 誕生会 3月生まれのお友達を みんなで祝います。

6・10・17・27日 ランチタイムコンサート

吹奏楽部員（学生）による ミニコンサート

